



あの音楽も、アメリカで生まれた!?

多様性が生み出した「アメリカ音楽」の魅力



ヨーロッパ音楽と黒人音楽を主なルーツとするアメリカ音楽とは、どんな音楽なのでしょう。人種のつぼと言われるアメリカで、民族の多様性が生み出したさまざまな音楽の魅力にふれてみました。

アメリカ音楽とは

アメリカ合衆国では、1776年の建国以来さまざまなジャンルの音楽が生まれてきました。ヨーロッパからの移民や西アフリカからの移住者が持ち込んだ「大衆音楽」が融合し、ゴスペル、ブルース、ジャズ、ロックンロールといった現代でもおなじみの音楽が次々と生まれ、定着していきました。

今日のアメリカ合衆国の音楽に特に大きな影響を与えたのは、新大陸に労働力として連れて来られた黒人の音楽です。「アフリカンミュージック」は、黒人教会で歌われていた「ゴスペル」や、そこから発展したブルース、アフリカ系アメリカ人のコミュニティで生まれた「ジャズ」といった音楽を生み出し、白人文化にも受け入れられていったのです。



アメリカ音楽のはじまり

イギリスからアメリカ大陸への移住が本格的に始まった17世紀初頭の音楽といえば、教会で歌う宗教音楽でした。18世紀に入ると、音楽は教会以外の場所へも広がり、宗教の歌に加え、失恋や悲恋の歌などが歌われるようになりました。当時流行した宗教歌や民謡のほとんどは、イングランドやスコットランド、アイルランドから入ってきたものでした。

独立戦争(1775~83年)の頃に流行った民謡の「ヤンキー・ドゥードゥル」は、アメリカの最初のヒット曲と言えるでしょう。日本では、「アルプス一万尺」というタイトルで知られているあの曲です。

独自の音楽が、今も続々と

アメリカで娯楽産業としての音楽が生まれたのは、独立戦争(1775~1783年)、米英戦争(1812~1815年)が終わってからです。イギリスからの自立後に産業が発達して都市が生まれ、商品となる「ポピュラー音楽」が誕生したのです。この頃、ポピュラー音楽の元祖と言われているスティーブン・フォスターが人気を博し、19世紀最大の商業娯楽と言われる「 minstrel show^{*}」が誕生しました。

以降、時代の変化とともにゴスペルやブルース、ジャズ、ソウル、ロックンロールといったジャンルが続々と登場し、世界に広まっていきました。

※白人が黒人に扮して、歌や踊り、話芸や寸劇などを見せる大衆芸能

アメリカ音楽の流れ

1800年代~	1820年代~	1920年代~	1940年代~	1960年代~	1970年代~
フォークソング(民謡) 宗教音楽	ポピュラーソング	ジャズ ブルース ゴスペル フォーク(アコースティック)	リズム&ブルース ロックンロール カントリー	ソウルミュージック ロック	ヒップホップ

アメリカ音楽の主なジャンル



- 〈ジャズ〉 アメリカ南部でアフリカの民族音楽とヨーロッパ音楽が融合してできた音楽。独特のリズム感と即興演奏などが特徴。
- 〈ブルース〉 奴隷制のもとにあったアフリカ系アメリカ人の間で生まれた音楽。ジャズが楽器の演奏が主体なのに対して、歌が主体となっている。
- 〈ゴスペル〉 黒人霊歌にブルースやジャズなどの要素が加わって生まれた。ゴスペルソングの略。
- 〈リズム&ブルース〉 アフリカ系アメリカ人の間に生まれたポピュラー音楽。ロックンロールやポップミュージックに大きな影響を与えた。
- 〈ロックンロール〉 カントリー音楽にリズム&ブルースなどが融合した、強烈なリズムのポピュラー音楽。
- 〈ソウルミュージック〉 1960年代以後の新しい黒人音楽のスタイル。リズム&ブルースに洗練された要素が加わった。
- 〈ヒップホップ〉 ニューヨークの街角や公園で生まれた、DJ、ラップ、ブレイクダンス、グラフィティを総括したカルチャー。

